



タイルの相貌は、**炎**とともに

焼成トンネル窯（鈴製陶株式会社）

焼成編 | 賛歌工場 | 企画展

2023.9.9 | 土 | - 2024.1.21 | 日 |

会場 / 多治見市モザイクタイルミュージアム 3Fギャラリー

休館日 / 月曜日（休日の場合は翌平日）

開館時間 / 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分）

観覧料 / 一般310円、団体250円（常設展観覧料でご覧いただけます）

高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

主催 / 多治見市モザイクタイルミュージアム

協力 / 岐阜県立多治見工業高等学校専攻科、

株式会社神谷匠製造所、高砂工業株式会社

焼成温度別の陶サンプル（岐阜県立多治見工業高等学校専攻科）





匣鉢
焼成時に歪んだりついたりせず、効率よく焼成するために用いられる (株式会社神谷匣鉢製造所)



焼成トンネル窯
匣鉢に詰められた焼成前のタイル (鈴製陶株式会社)



電気窯にならぶ焼成前のタイル
焼成温度別の陶サンプル (岐阜県立多治見工業高等学校)



焼成編 工場賛歌



本展は、開館以来3回にわたって「工場賛歌」のタイトルを冠して開催してきた企画を引き継ぎ、タイルの焼成というプロセスに注目する展覧会です。
戦後、笠原を中心に展開してきた美濃焼タイルの製造現場は、分業体制の構築によって良質な製品の大量生産を可能にできました。土や釉薬といった素材がそろっているだけでなく、成形や焼成といったタイル製造ならではのノウハウを知る企業が、この産地に集結しているのです。特に焼成は、タイルの色や素材感といった、「顔」となる部分を決定づけるプロセスです。その工程では何が起きているのか、どんな道具や技術を必要とするのか、岐阜県立多治見工業高等学校の専攻科（陶磁科学芸術科）や地元の産業にかかわる各社のご協力を得て、展示によって表現いたします。これまで深く掘り下げられることがなかったタイル産業の重要な一面に、少しでも触れる機会となれば幸いです。

関連企画

◆ワークショップ タイルピースで自分の作品をつくろう! (12月頃開催予定)

タイルピースを組み合わせて、作品を制作しましょう。
温度別に焼成したタイルの色の表情の違いも実際に手に取って見ることができます。
*タイルピース：本展示にも出品されている陶土を温度差をつけ焼き上げたもの

協力：岐阜県立多治見工業高等学校 専攻科 陶磁科学芸術科
各関連企画お問合せ・お申込先／多治見市モザイクタイルミュージアム
担当／服部 Tel 0572-43-5101 Fax 0572-43-5114 e-mail info@mosaic-tile-museum.jp

*他にも工場見学を計画中 (未定)
詳細についてはホームページで告知します。



〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町2082番地の5
電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114
URL <http://mosaic-tile-museum.jp>

アクセス：[公共交通機関]名古屋から、JR中央本線下り、多治見・中津川方面行き、多治見駅下車。多治見駅から東鉄バス(約20分の乗車)、東車口行き、羽根行きにて、モザイクタイルミュージアム下車。
[自動車]多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分。
※駐車場は笠原中央公民館などの合同駐車場です。駐車スペースに限りがありますので公共交通機関のご利用をお勧めします。

